

鳴門病院における「ヘリポート・津波防潮壁」の
 整備スケジュールの見直しについて

1 現状

「令和5年度の一体的着工」に向け、当初予算を計上し準備を進めていたが、次の理由により、整備スケジュールを見直す必要が生じた。

- ・ 国が「R5.2月」に被害想定等の見直しに向けた本格的な検討の開始を発表し、県においても「R5.6月補正」にて津波浸水被害想定等の見直しに着手したこと

2 スケジュールの見直し

○ヘリポート

- ・ 「実施設計」は完了しており、ドクヘリによる救急搬送時間短縮等、平時からも利点を有するため、先行して整備に着手することとする。

◆「災害拠点病院」として、ヘリポート空間を最大限活用し、
 発災時における災害対応機能を強化。
 ⇒ 「災害用備蓄倉庫」を増設
 ⇒ DMA T等の「受援体制」を強化

○津波防潮壁

- ・ 県の津波浸水被害想定見直しの進捗状況を踏まえ、速やかに工事着手できるよう、準備を進めることとする。

◆ 整備スケジュール

	R5年度												R6年度												R7年度												R8年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
<当初>																																																
ヘリポート	→																																															
津波防潮壁	→																																															
<見直し後>																																																
ヘリポート													→																																			
津波防潮壁																									→																							

※県の津波浸水被害想定見直しの進捗状況を踏まえ、速やかに工事着手